

社会福祉法人 夢のつばさ 平成 30 年度 事業計画

基本的な考え

どんな障がいを持っていても、かけがえのない個性的な人として、その人なりの活動のしかたで社会に参加し、自己表現のできるどころ【働く場・通う場】になる。

1. 運営の方針

- ① 集う仲間が自立した日常生活と社会経済活動へ参加できるよう一人ひとりの個性、能力を最大限生かして、活動の喜びを体験し、意欲を育て、その力を高めていく。また、様々な体験を通してより豊かな日中生活が送れるように支援する。
そのために、利用者一人ひとりの個性・障がい特性を深く理解し、ケアマネージメントの手法による個別支援計画に沿って、できる限り自分の意思で選択・決定・行動できる力を伸ばせるよう支援します。
- ② 地域との結びつきを重視し、社会の多くの人々との交流をとおして相互理解を深め、地域とともにある施設になる。また、障がい福祉の拠点として障がいを持つ人とともに暮らす地域づくりに寄与していく。

2. 重点事項

- ① 職員・家族・法人役員が一丸となって今後の事業、財政運営の在り方を調査、検討する。
 - ・生活介護、就労継続 B 型、地域活動支援センターのあり方について
 - ・重度の利用者のための共同生活援助事業の在り方について
- ② クラウドファンディングにより資金調達し、業務用オープンを更新する。
- ③ 職員の処遇改善を図り、働きがいのある職場づくりを進める。

3. 【 阿智村多機能型事業所 夢のつばさ 】

① 生活介護

利用者	定員 20名	(登録 27名)
職員	看護師 1名	生活支援員 9名(兼務 3名)

② 就労継続支援 B 型

利用者	定員 20名	(登録 21名)
職員	目標工賃達成指導員 1名	
	職業指導員 6名、	生活支援員 3名、

その他兼務職員

管理者	1名	サービス管理責任者(兼務)
事務職員	3名	運転手 3名(支援員兼務 1名)

3. 日課 生活介護

時間	利用者の動き	職員
8:00		迎え配車
8:30 ~ 9:00	通所・着替え	出勤・朝礼 作業準備・受け入れ
9:00 ~ 10:30	朝の会 作業	生活・作業支援
10:30 ~ 10:45	休憩	
11:00~ 11:45	散歩	散歩（夏季・冬季・天候で変更あり）
11:45 ~	昼食準備	誘導・配膳
12:15 ~ 13:15	昼食・休憩	食事支援・見守り 昼食・休憩
13:15 ~ 15:15	作業・リハビリ・プール等	生活・作業支援
15:15 ~ 15:35	休憩	
15:35 ~ 15:50	掃除	
15:50 ~ 16:00	帰りの会	
16:00 ~17:15	帰宅	送り配車・送り出し・片付け清掃 作業準備・支援記録・ミーティング

就労継続支援B型

時間	利用者の動き	職員
8:00		迎え配車・添乗
8:30 ~ 9:00	通所・着替え	出勤・朝礼 作業準備・受け入れ
9:00 ~ 10:30	朝の会作業	作業支援
10:30 ~ 10:45	休憩	
10:45 ~ 11:45	作業	
11:45 ~	昼食準備	誘導・配膳
12:15 ~ 13:15	昼食・休憩	食事支援・見守り
13:15 ~ 15:15	作業	作業支援
15:15 ~ 15:35	休憩	
15:35 ~ 15:50	掃除	
15:50 ~ 16:00	帰りの会	
16:00 ~17:15	帰宅	送り配車・送り出し・片付け清掃 作業準備・支援記録・ミーティング

4. 年間行事

月	行事内容	月	行事内容
4		10	ゆうあいレク 地区区民祭
5		11	阿智祭・駅伝大会
6	飯伊障害者スポーツ大会・旅行	12	収穫感謝祭
7	阿智の夏祭り参加	1	成人を祝う会（新年会）
8		2	
9	長野県障害者スポーツ大会	3	交流会

その他土曜開所でのレク

5. 生活・就労支援

生活介護

利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう援助する。

その方の必要に応じ、入浴・排せつ及び食事等の日常生活の介護をはじめ、創作的活動、生産活動（自主製品制作・受託作業等）の機会の提供を行う。その他の身体能力又は生活能力の向上のために必要な援助を行う。具体的には散歩、健康管理支援、アート活動、ドライブ・音楽鑑賞などのゆったり時間を提供する。

就労継続支援B型

利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるように、生産活動や、就労の機会を提供する。また生産活動や、その他の活動を通じて、就労に必要な知識や、技術を身に付ける。能力向上のために必要な訓練や、他施設見学、学習会、その他便宜を適切かつ効果的に行うものとする。

その人にあつた生産活動・作業を提供し収益にもつなげる。利用者一人ひとりの作業支援とともに自主製品開発研究及び販路の拡大、また外部受託作業にて収益につなげるよう努める。

作業内容

- ・ 食品製造 〔パン工房〕 パン・ケーキ・焼き菓子等
 〔クッキー工房〕 クッキー
 〔加工班〕 餅・地元食材を活用した加工食品製造、委託
- ・ 農業 〔夢ファーム〕 米・野菜・花・薪・外注作業
- ・ 芸芸班 〔夢工房〕 紙漉き等の自主製品・受託作業
- ・ 喫茶・物販〔西部三村アンテナショップ ふらっとホッと〕
- ・ 販売活動 イベント販売（地区等各種行事・市役所・合同庁舎）、出張販売
- ・ 委託販売（病院売店・温泉施設売店・コンビニ等）

- 地域とともにある施設作りを念頭に地域の行事には積極的に参加する。
ボランティアさんの受け入れを積極的に行う。またボランティアさんの憩えるような場所作りを考える。
地元保育園、小中学校、高校生、福祉施設との交流、施設情報の発信を行う。
国・村道沿道の花壇の手入れ等奉仕活動も積極的に行う。
- 基本的な生活習慣の習得、散歩やマラソンの身体運動・健康管理・野外活動・音楽・絵画などの余暇支援をおこなう。生活の中でのリハビリを計画的に行えるよう定期的に理学療法士に在所いただく。
- 生活介護、就労継続支援B型それぞれのサービス利用者の方の個別支援計画においてお一人お一人の必要援助により、空間、体制の相互利用を可能とする。

- ケアマネージメント手法による生活介護計画・就労継続支援B型計画に添い一人ひとり意志及び人格を尊重し常にその人の立場に立った支援を提供する。

ケアマネージメントの手法とは

- 利用者の有する能力、おかれている環境及び日常生活全般の状況の評価を通じて利用者の希望する生活や課題等の把握（アセスメント）を行い、利用者が自立した日常生活を営むことができるように支援する上で適切な支援内容を検討する。
- アセスメント、支援内容の検討結果に基づき、事業者が提供するサービス又は他の福祉サービス等との連携を含めて、利用者の生活に対する意向、支援の方針生活全般の質を向上させるための課題、支援目標及び達成時期等を記載した支援計画の原案を作成する。
- ご本人及び御家族のニーズを丁寧に聞きとる。
- その内容を利用者（家族）に説明、同意を得、書面を利用者に交付する。
- 支援計画の実施状況の把握、継続的支援のため定期的な見直し（モニタリング）を行い、必要に応じ支援計画の変更を行う。

6 防災計画

法人 非常災害対策規定により火災、地震を想定した合同避難訓練（夢のつばさ 第二幸寿苑・南信州菓子工房）を年2回以上実施し危機管理の意識を持つ。又法人のグループホーム4棟も年3回行い、内1回は地域合同避難訓練に参加する。

【 阿智村地域活動支援センター つばさ作業所 】

1. 基本的な考え

障がいのある人々が通うことにより生産的及び創作的活動を通じて社会に参加し、ゆたかな地域生活ができることを願いとする。

2. 方針

- 利用者の意思及び人格を尊重し、常にその人の立場に立った作業訓練、就労支援を行なう。
- 利用者個々人の個性を尊重し、能力にあった作業内容を研究し、収益につなげることにより働く意欲を高めていく。
- 地域との結びつきを大切にし、障がいのある人と共に暮らす地域づくりに貢献できるようにする。

3. 内容

- 多機能型事業所と連携（作業、人的交流）をとる
- 作業内容 受託作業

4. 利用者定員 13名 職員2名

5. 知的、身体、及び精神障がいのある方を中心に高齢者の方も利用対象とする。

【 共同生活援助事業 (グループホーム) 】

障がいを持つ方が地域の中で生活を営むために住まいを提供し、食事、健康管理、生活上の相談等生活全般のサービスを行なう。休祭日支援、地域との交流を支援する。日中活動の場、家族との連携を常に取り合い、充実、安定した生活をおくっていただく。世話人、生活支援員会を定期的に関催、共有・共通意識、技術を持って支援に当たる。GH毎の連絡会を設置し、利用者支援について情報共有をはかる。

- | | | | | | |
|-----------|-----------|-------------|-------|-------|--|
| ① つばさホーム | 阿智村 春日 | | | | |
| 利用者 | 5名 (定員5名) | 職員 | 世話人4名 | | |
| ② きらきらハイム | 阿智村 駒場 | | | | |
| 利用者 | 6名 (定員7名) | 職員 | 世話人4名 | 支援員5名 | |
| ③ 夢ハウス | 阿智村 駒場 | | | | |
| 利用者 | 5名 (定員5名) | 職員 | 世話人4名 | 支援員8名 | |
| ④ ドリーむハイツ | 阿智村 駒場 | | | | |
| 利用者 | 5名 (定員5名) | 職員 | 世話人5名 | 支援員5名 | |
| 管理者 | 1名 | サービス管理責任者兼務 | 1名 | | |

【 フードサービス 夢 社会福祉法人への給食提供事業 】

1. 方針

目で見てたのしみ、食べておいしく、安全な食事を提供します。

2. 内容

阿智村デイサービスセンター第二幸寿苑の昼食、おやつを受託事業として提供。阿智村多機能型事業所の昼食、おやつの提供栄養管理、栄養指導など食についての相談・支援をする。外部より(村健診等)依頼を受ける。自主製品弁当(おこわ)の製造、ふらっとホッとでの販売を行う。

法人グループホームの献立作成

職員 管理栄養士 1名 調理員 (パート) 4名

【 特定相談支援事業 ういんぐ 】

市町村おけるすべての障がい福祉サービス等の支給決定には利用計画が義務付けられている。依頼者の方のサービス等利用計画書作成、モニタリングを定期的に行う。市町村との連携をはかり、ご家族、依頼者、サービス事業者の調整役となる。

【 移動支援事業 】

地域生活者の中の移動支援サービスに対する要望に対応する。

【 タイムケア事業 】

地域生活者の中のタイムケアサービスに対する要望に対応する。

【 家族会 】

家族会のご家族、施設、法人と共にある施設と認識し、常に連絡を取り合い、定期の会議を持ち、より良い環境整備のため懇談会を開く。施設見学等研修を共同で実施する。

【 各委員会の設置 】

サービスの検証、職員資質向上のため、所内に下記の委員会を設置する

- ・サービス検討委員会（生活環境・日課の見直し、マニュアル検討）
- ・苦情受け付け、検討、解決委員会
- ・研修委員会
- ・危機管理委員会(虐待防止解決委員会兼)

【 職員研修計画 】

長野県、知障協等の研修に参加 知障協各部会に参加 代表者会研修会 地域支援部会
日中活動支援部会 新入職員研修会

南信施設職員交流会等 リスクマネジメント 苦情対応等

- ・県社協研修に参加（新入職員研修・相談従事者・サービス管理責任者養成研修等・ボランティアコーディネーター研修）

技術を高めるための学習

- ・農業 ・菓子等製造 ・介護 ・アート その他
- ・先進施設、他施設見学（体験実習・他施設との交流）

県内外フォーラム、全国レベルの学習会

職員会・施設内研修計画

毎週 水曜日 17:00~19:00

	第1週	第2	第3	第4
4月	定例職員会議	ケース検討会（C）	定例職員会議	研修 身体介助技術
5月	定例職員会議	ケース検討会（C）	定例職員会議	研修 個人研修報告
6月	定例職員会議	ケース検討会（C）	定例職員会議	研修 苦情解決
7月	定例職員会議	ケース検討会（C）	定例職員会議	研修 個人研修報告
8月	定例職員会議	ケース検討会（C）	定例職員会議	研修 虐待防止
9月	定例職員会議	ケース検討会モニタ	定例職員会議	研修 個人研修報告
10月	定例職員会議	ケース検討会（C）	定例職員会議	研修 見学研修
11月	定例職員会議	ケース検討会（C）	定例職員会議	研修 救急救命講習
12月	定例職員会議	ケース検討会（C）	定例職員会議	リスクマネジメント
1月	定例職員会議	ケース検討会（C）	定例職員会議	研修 個人研修報告
2月	定例職員会議	ケース検討会（C）	定例職員会議	研修 接遇
3月	定例職員会議	ケース検討会モニタ	定例職員会議	研修 個人研修報告